

2014 年 2 月 14 日

報道関係 各位

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

事務機械の「全世界出荷に関する 2013 年の見込み
及び 2014 年・2015 年の予測」の発表

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（会長：内田恒二／キヤノン株式会社 相談役）は、この度、全世界市場を対象とした事務機械の出荷に関する見込み及び 2 年間の予測をとりまとめましたので発表致します。

なお、この出荷見込み及び予測の調査にあたっては、外部の調査機関（㈱データ・サプライ、㈱テクノ・システム・リサーチ）に委託し、取りまとめを行いました。

ホームページに掲載しています事務機械出荷実績（JBMIA 集計）、複写機・複合機出荷統計（JBMIA 集計）は、会員企業の出荷実績のみであることから、今回の予測に用いている数値とは異なりますのでご注意ください。

また、本予測数量及び金額は、事務機械本体のみを対象としています。

（1）概況

<2013 年>

事務機械業界は、円安の影響もあり、金額は、前年比 4.5%増の見込みとなった。

国内市場は、複数の品目の数量・金額が減少するものの、金額のウェイトが大きい複写機・複合機がプラスであったため、合計金額は増加見込みとなった。

海外市場は、欧州における景気停滞の長期化や新興国市場の勢い鈍化などが見られたが、円安の影響により金額は増加見込みとなった。

<2014 年以降>

国内市場は、消費税率の変更に対応した新製品特需や駆け込み需要により一時的な出荷増の期待ができる品目もあるが、企業における事務機械の導入は一巡しており、全般的に金額は減少傾向で推移していくと予測される。

海外市場は、先進国で、景気回復基調が鮮明になってきた米国に加え、欧州経済も次第に持ち直していくことが期待されているが、先進国の事務機械市場はリブレース需要が中心のため、数量・金額は当面横ばいで推移していくと予測される。

また、新興国においては、中国市場は以前ほどの勢いはないものの現状程度の安定的な成長が続くとみられ、その他の新興国市場は成長が続き、同市場向け数量は増加すると予測される。

業界全体としては、機器本体に加えて、ソリューション販売、サービス・消耗品など周辺ビジネスへの展開が重要性を増してきている。クラウド環境の進展により各種ソフトウェアとの連携機能強化が進んでいく中で、市場拡大の要素が豊富にあり、継続的な発展が期待されている。

＊為替レート：2013 年の実効レートで 2014 年以降を予測。

＊2013 年は同年末時点での見込み。

（２）品目別予測

①複写機・複合機

<2013 年>

国内市場は、数量・金額とも増加した。特に、A3 カラー機の堅調な出荷が続いており、複写機・複合機全体に占めるカラー機比率は、2013 年で約 76%まで高まっている。

海外市場は、欧米ではカラー機の出荷が堅調であり、アジア・その他地域を中心としたモノクロ機需要と併せ、数量・金額とも増加した。サイズ別では、A4 機のニーズが高まっており、各地域で増加している。

<2014 年以降>

国内市場は、景気回復による需要増加の期待もあるが、カラー機の出荷が一巡していることやリプレース期間の長期化傾向などにより、数量では横這いから微増傾向で推移していくと予測される。

海外市場は、先進国の複写機・複合機市場はリプレース需要が中心のため、数量・金額は大きな変化がなく推移してゆき、アジア・その他地域では、全般的に以前ほど成長の勢いはないものの、当面は低価格製品を中心に数量増加が続くと予測される。

さらに、複写機・複合機ビジネスは箱売りからソリューション販売へのシフトを目指しており、各種ソフトウェアとの連携機能を強化したソリューションの需要は増加していくと予測される。クラウド環境の充実により、ソリューション販売が大企業だけでなく、中小企業にも広がる可能性が高まっていることもビジネスの拡大を後押しするとみられる。

②ページプリンタ（単機能機）

<2013 年>

国内市場は、一般オフィスを中心に大半の事業所に単機能ページプリンタは行き渡っており、さらに A3 複合機への集約や A4 複合機との入れ替えにより、単機能ページプリンタの市場は縮小傾向を示している。

海外市場は、モノクロ機、カラー機ともに数量は減少したが、カラー機の金額は円安の影響で、若干増加の見込みとなった。欧米においては、国内同様、A3 複合機への集約や

A4 複合機との入れ替えが進んでいる。アジア・その他地域においては、低価格の A4 複合機やインクジェットプリンタを使用するユーザーも多いため、低価格の単機能ページプリンタと競合している。

<2014 年以降>

国内市場は、カラー出力のニーズが伸びない中、単機能ページプリンタ全体に占めるカラー機の比率は 30%弱で頭打ちとなると見込まれ、カラー機と比較し、低価格なモノクロ機中心の出荷が継続し、金額の減少が続くと予測される。

海外市場は、欧米は、数量・金額とも引き続き減少していくものの、オフィスでの A3 複合機への集約は一段落した感もあり、単機能ページプリンタの再配置の動きもみられ、減少率は緩やかになっていくと予測される。アジア・その他地域では、普及率の低い一部の地域では増加していくが、中国を含むアジアの大半は A4 複合機モデルの出荷が主流となっていくため単機能ページプリンタの出荷は減少していくと予測される。

③データプロジェクター

<2013 年>

国内市場は、景気回復の期待感を背景に、需要増加の期待もあったが、企業の投資抑制傾向の継続が影響し、数量は横ばいの見込みとなった。

海外市場は、世界最大の市場である中国市場と新興国市場では増加したが、米国文教市場や欧州市場の停滞により、全体では数量微減、金額減少の見込みとなった。

<2014 年以降>

国内市場は、企業向けではリプレース需要が進む可能性もあるが、大型フラットパネルとの競合もあるため、ほぼ横這いで推移していくと予測される。その中で、文教市場向けは、教育予算拡大の兆しがみえるため、需要の拡大が期待される。

海外市場においては、2014 年までは欧米市場が引き続き停滞するとみられ、全体では数量の微減が続くが、2015 年は景気の回復により、欧米市場では持ち直し、新興国市場での安定的な増加と併せて、数量は微増に転じると予測される。

技術動向としては、プロジェクターのキーパーツである光源部に、レーザーや LED の固体光源を採用する動きが広まりつつある。従来の水銀ランプに比べ、現状はややコスト高となるが、環境負荷の低減を期待でき、性能も年々向上している。また、超短焦点などの高機能製品による今後の需要拡大も期待されている。

④電卓&電子辞書

●電卓

<2013 年>

国内市場は、数量・金額とも緩やかに減少の見込みとなった。海外市場は、新興国向けの出荷が堅調に推移し、数量・金額ともに増加の見込みとなった。

<2014 年以降>

国内市場は、2014 年は消費税引き上げに対応した新製品の特需が期待でき、増加に転じると予測した。2015 年は、他デバイスとの競合が比較的少なく、ビジネス向け機種での根強い需要が続いているため、数量・金額とも緩やかな減少で推移していくと予測される。

海外市場は、新興国向けは引き続き堅調に推移していくが、先進国市場が飽和しているため、全体で、金額は微減傾向で推移していくと予測される。また、主に米国で使用されているプリンタ電卓や欧米の学生（大学生、高校生）向けの関数電卓は安定的な出荷が継続すると予測される。

●電子辞書

<2013 年>

国内市場は、スマートフォンやタブレットの普及によりビジネスマンの電子辞書離れが進み、電子辞書の販売ターゲットは勉強や趣味・教養などの「目的」を持つユーザーに限定されつつあることなどから、数量・金額とも減少の見込みとなった。

海外市場は、中国や東南アジアなどの新興国やヨーロッパの一部などの市場が中心であり、数量は増加の見込みとなった。ただし、中国は年間数百万台規模の世界最大の市場であるが、中国地場メーカーの販売量が圧倒的である。

<2014 年以降>

国内市場は、現在の主な使用層である全国の高校生数は長期的には減少傾向にあるものの、ここ数年は減少に歯止めがかかっている。また、小学校における英語教育の開始を現行の 5 年生から 2020 年までには 3 年生に前倒しする方針が固まったため、使用層が今後拡大することも期待されている。よって、数量・金額とも減少するものの、減少率は緩やかになっていくと予測される。

海外市場においては、海外の地場メーカーの製品が圧倒的に強いため、日本メーカーは地場メーカーにはない高機能・多機能を求めるユーザー需要を取り込むことで、一定の需要が予測される。

⑤ECR/POS

<2013 年>

国内市場は、数量・金額とも増加の見込みとなった。国内はリプレース需要が中心となっている。

海外市場は、数量・金額とも減少の見込みとなった。先進国においては日本と同様リプレース需要が中心である。新興国も成長が期待されていたが、端末機タイプにおいて、パソコンにドローアをつけた程度の機器（PC on Cash drawer）との競合が激しくなり、増加率が低かった。

<2014 年以降>

国内市場は、2014 年の消費税引き上げにより、ECR は多少の特需が期待されるが、POS はリース契約が多く、その影響はあまりない。長期的には、高齢化社会が進むにつれて、宅配サービスが増加、従来型の店舗が減っていくと見込まれ、店舗設置型の ECR/POS の需要は減少していくと予測される。

海外市場は、欧州の一部では税制改革などによる需要増が期待されているが、全体では数量・金額とも微減で推移していくと予測される。

⑥デジタル印刷機

<2013 年>

国内市場は、数量・金額とも減少、海外市場は数量増加、金額は減少の見込みとなった。国内市場は日本メーカーのみの出荷であるが、海外市場は、絶対量は少ないが中国メーカーがあり、急成長している。

<2014 年以降>

国内市場、海外市場とも 2013 年と同様の傾向で推移していくと予測される。

両面印刷、2 色機など機能的な改良・前進も見られるが、メイン市場である学校や民間での普及率がすでに高いことに加え、低価格の複写機・複合機との競合も市場拡大のブレーキになっている。

⑦シュレッダ

<2013 年>

国内市場は、大型機はほぼ横ばい、小型機は前年の大幅増の反動により若干の減少の見込みとなった。大型機は、一般オフィス向け、官庁向けともにほぼ一巡しており、リプレース需要が中心であるが、2005 年の個人情報保護条例施行による特需時に設置した機種のリプレース需要が堅調である。

<2014 年以降>

大型機は、2014 年は消費税引き上げ前の駆け込み需要に加え、景気回復によるリプレース需要の増加も期待できるため、数量は増加、2015 年以降も微増を維持していくと予

測される。大型機のサイズ別では、国内においては利便性を重視するユーザーが多く、A3 機の根強い需要が続いている。

小型機は、量販店での販売を中心に底堅い需要が続いていくと予測される。

⑧電子黒板

<2013 年>

国内市場、海外市場ともに数量・金額は減少の見込みとなった。電子黒板はもともと国内ニーズの高い製品であるが、国内は新規オフィスの設置が少なく、競合商品も多いため、需要が伸びていない。

<2014 年以降>

国内市場は、2013 年と同様の傾向が続き、減少傾向で推移していくと予測される。海外市場は、中国市場などで若干の回復が期待できるが、全体では減少が続くと予測される。

⑨タイムレコーダ

<2013 年>

国内市場は、数量はほぼ横ばい、金額は微減の見込みとなった。海外市場は、数量・金額ともに減少の見込みとなった。

カード印字方式タイムレコーダの世界最大の市場である中国において IC カード方式などの別方式が増えつつあり、カード印字方式の需要が減少傾向にある。

<2014 年以降>

国内市場は、大規模事業所では IC カード等での勤怠管理が主流になりつつあるが、カード印字方式タイムレコーダは、労働者自身による現場確認が可能、記録保管の確実性、導入の容易性などのメリットがあるため、中小規模事業所を中心に根強い需要があり、2015 年までは現状程度の数量を維持していくと予測される。

海外市場は、先進国市場はリプレース市場であり、また、欧米（特に北米）の勤労管理はタイムスタンプ（機械式時刻記録機）方式が主流であり、カード印字式タイムレコーダの市場規模は小さい。また、中国市場でも IC カード方式を採用する場合も増えつつあるため、海外市場は数量の増加要因が少なく、低価格化も進むため、数量・金額とも減少していくと予測される。

【参考】

①MFP

<2013 年>

国内市場は数量ほぼ横ばい、金額は増加、海外市場は数量・金額とも増加の見込みとなった。主に海外市場で A4MFP の出荷が増加傾向にある。

＜2014 年以降＞

国内市場は、A4MFP への需要増があり、数量で横這いから微増、金額は微減で推移していくと予測される。

海外市場は、モノクロ機、カラー機ともに数量では増加が続くと予測される。アジア、東欧、南米などでは低価格の A4MFP の強いニーズがあり、先進国市場では、A3MFP の分散機としての A4MFP のニーズが高まってきている。

②DMS（ドキュメント・マネージメント・システム）

＜2013 年＞

IT システムに対する投資意欲は回復傾向にあるものの、DMS への予算が抑制されているため、数量・金額とも増加したが、伸び率は低い見込みとなった。

＜2014 年以降＞

DMS 市場が伸長していくためには、依然として紙を中心に業務を行っている官公庁や地方自治体などの団体や企業の電子化の進展が重要となってくる。

また、物理的なファイルを使って文書をファイリングし、キャビネットで管理・保管している企業への DMS の導入が期待され、数量・金額とも増加傾向で推移すると予測される。

スマートデバイスの導入が進んでおり、新しい分野であるモバイルコンテンツ管理などの市場への製品やサービスを提供することで、DMS 市場拡大の可能性がある。

＊調査会社：(株)データ・サプライ（10 品目）

(株)テクノ・システム・リサーチ（DMS）

以上

本件に関するお問い合わせ先：

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

広報担当事務局

森谷英司、冠野博信

調査統計委員会担当事務局 岡野聖史

（TEL：03-6809-5010、FAX：03-3451-1770）

事務機械の全世界出荷に関する見込み及び2014年、2015年予測

単位：百万円、台、％

品目			平成25(2013)年見込				平成26(2014)年予測				平成27(2015)年予測			
			金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比
複写機・複合機	モノクロ複写機・複合機	国内	56,440	83.6%	139,100	88.9%	50,830	90.1%	131,000	94.2%	47,330	93.1%	126,200	96.3%
		海外	255,600	109.9%	2,482,300	100.1%	248,000	97.0%	2,522,800	101.6%	243,600	98.2%	2,559,800	101.5%
		合計	312,040	104.0%	2,621,400	99.4%	298,830	95.8%	2,653,800	101.2%	290,930	97.4%	2,686,000	101.2%
	カラー複写機・複合機	国内	293,400	110.2%	435,600	108.1%	281,600	96.0%	446,700	102.5%	270,000	95.9%	455,100	101.9%
		海外	363,550	118.7%	1,427,450	109.3%	370,800	102.0%	1,546,400	108.3%	378,150	102.0%	1,672,550	108.2%
		合計	656,950	114.8%	1,863,050	109.0%	652,400	99.3%	1,993,100	107.0%	648,150	99.3%	2,127,650	106.8%
	合計	国内	349,840	104.8%	574,700	102.8%	332,430	95.0%	577,700	100.5%	317,330	95.5%	581,300	100.6%
		海外	619,150	114.9%	3,909,750	103.3%	618,800	99.9%	4,069,200	104.1%	621,750	100.5%	4,232,350	104.0%
		合計	968,990	111.1%	4,484,450	103.2%	951,230	98.2%	4,646,900	103.6%	939,080	98.7%	4,813,650	103.6%
ページプリンタ	モノクロ機	国内	18,140	95.8%			17,230	95.0%			16,320	94.7%		
		海外	180,500	96.0%			171,700	95.1%			154,700	90.1%		
		合計	198,640	96.0%	17,002,200	96.3%	188,930	95.1%	16,500,100	97.0%	171,020	90.5%	16,028,700	97.1%
	カラー機	国内	12,010	99.8%			11,810	98.3%			11,310	95.8%		
		海外	73,500	106.7%			71,500	97.3%			69,300	96.9%		
		合計	85,510	105.7%	2,969,100	99.6%	83,310	97.4%	2,991,950	100.8%	80,610	96.8%	3,017,900	100.9%
	合計	国内	30,150	97.3%			29,040	96.3%			27,630	95.1%		
		海外	254,000	98.9%			243,200	95.7%			224,000	92.1%		
		合計	284,150	98.7%	19,971,300	96.8%	272,240	95.8%	19,492,050	97.6%	251,630	92.4%	19,046,600	97.7%
データプロジェクター		国内	12,360	96.9%	163,000	100.0%	11,950	96.7%	163,000	100.0%	11,640	97.4%	164,800	101.1%
		海外	218,200	96.6%	7,044,800	99.5%	205,000	94.0%	6,869,500	97.5%	200,800	98.0%	6,954,600	101.2%
		合計	230,560	96.6%	7,207,800	99.5%	216,950	94.1%	7,032,500	97.6%	212,440	97.9%	7,119,400	101.2%
電卓&電子辞書	電卓	国内	5,420	96.5%	5,664,900	96.7%	5,480	101.1%	5,835,000	103.0%	5,100	93.1%	5,485,000	94.0%
		海外	37,400	105.2%	76,660,000	101.2%	36,800	98.4%	75,412,000	98.4%	36,000	97.8%	73,802,000	97.9%
		合計	42,820	104.0%	82,324,900	100.9%	42,280	98.7%	81,247,000	98.7%	41,100	97.2%	79,287,000	97.6%
	電子辞書	国内	25,000	86.0%	1,520,000	88.1%	23,300	93.2%	1,420,000	93.4%	21,400	91.8%	1,306,000	92.0%
		海外	19,630	98.5%	6,097,800	103.4%	19,380	98.7%	6,314,000	103.5%	18,850	97.3%	6,411,000	101.5%
		合計	44,630	91.1%	7,617,800	99.9%	42,680	95.6%	7,734,000	101.5%	40,250	94.3%	7,717,000	99.8%
	合計	国内	30,420	87.7%	7,184,900	94.7%	28,780	94.6%	7,255,000	101.0%	26,500	92.1%	6,791,000	93.6%
		海外	57,030	102.8%	82,757,800	101.4%	56,180	98.5%	81,726,000	98.8%	54,850	97.6%	80,213,000	98.1%
		合計	87,450	97.0%	89,942,700	100.8%	84,960	97.2%	88,981,000	98.9%	81,350	95.8%	87,004,000	97.8%
ECR/POS(金銭登録機)		国内	37,600	102.3%	250,500	108.8%	35,450	94.3%	239,000	95.4%	33,500	94.5%	228,300	95.5%
		海外	117,400	96.1%	3,223,140	97.4%	112,600	95.9%	3,126,000	97.0%	108,050	96.0%	3,040,600	97.3%
		合計	155,000	97.5%	3,473,640	98.2%	148,050	95.5%	3,365,000	96.9%	141,550	95.6%	3,268,900	97.1%
デジタル印刷機		国内	8,600	91.5%	28,770	97.0%	8,100	94.2%	28,000	97.3%	7,600	93.8%	27,300	97.5%
		海外	8,350	93.8%	51,600	104.7%	8,030	96.2%	52,100	101.0%	7,720	96.1%	52,600	101.0%
		合計	16,950	92.6%	80,370	101.8%	16,130	95.2%	80,100	99.7%	15,320	95.0%	79,900	99.8%
シュレツダ	大型機	国内	7,900	101.7%	140,500	100.9%	8,100	102.5%	146,000	103.9%	8,200	101.2%	149,000	102.1%
	小型機	国内	1,950	99.3%	380,000	96.2%	1,930	99.0%	390,000	102.6%	1,910	99.0%	400,000	102.6%
	合計	合計	9,850	101.2%	520,500	97.5%	10,030	101.8%	536,000	103.0%	10,110	100.8%	549,000	102.4%
電子黒板		国内	1,345	80.0%	14,550	80.9%	1,194	88.8%	13,100	90.0%	1,059	88.7%	11,800	90.1%
		海外	1,085	79.4%	20,190	82.2%	985	90.8%	18,800	93.1%	893	90.7%	17,510	93.1%
		合計	2,430	79.7%	34,740	81.6%	2,179	89.7%	31,900	91.8%	1,952	89.6%	29,310	91.9%
タイムレコーダ		国内	1,800	97.2%	95,000	100.5%	1,780	98.9%	95,000	100.0%	1,760	98.9%	95,000	100.0%
		海外	250	94.3%	23,500	98.3%	240	96.0%	23,000	97.9%	230	95.8%	22,000	95.7%
		合計	2,050	96.8%	118,500	100.1%	2,020	98.5%	118,000	99.6%	1,990	98.5%	117,000	99.2%
総合計		国内	481,965	102.2%			458,754	95.2%			437,129	95.3%		
		海外	1,275,465	105.4%			1,245,035	97.6%			1,218,293	97.9%		
		合計	1,757,430	104.5%			1,703,789	96.9%			1,655,422	97.2%		

【参考】

単位：百万円、台、％

品目			平成25(2013)年見込				平成26(2014)年予測				平成27(2015)年予測			
			金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比
MFP	モノクロ機	国内	42,400	91.1%			40,400	95.3%			38,400	95.0%		
		海外	291,300	93.5%			287,200	98.6%			283,200	98.6%		
		合計	333,700	93.2%	14,265,100	102.5%	327,600	98.2%	14,888,150	104.4%	321,600	98.2%	15,547,300	104.4%
	カラー機	国内	276,900	105.0%			270,000	97.5%			265,000	98.1%		
		海外	407,000	108.2%			417,500	102.6%			423,000	101.3%		
		合計	683,900	106.9%	4,162,200	107.9%	687,500	100.5%	4,450,800	106.9%	688,000	100.1%	4,738,100	106.5%
	合計	国内	319,300	102.9%			310,400	97.2%			303,400	97.7%		
		海外	698,300	101.6%			704,700	100.9%			706,200	100.2%		
		合計	1,017,600	102.0%	18,427,300	103.7%	1,015,100	99.8%	19,338,950	104.9%	1,009,600	99.5%	20,285,400	104.9%

※JBMAIにおけるMFPとは、PC(ネットワーク)接続を前提とした電子写真方式のプリンタ機能を標準で装備し、更にコピーかスキャナかファクシミリのいずれか1つ以上の機能を標準装備している製品である。

単位：百万円、台、％

品目		平成25(2013)年見込				平成26(2014)年予測				平成27(2015)年予測			
		金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比
DMS		49,375	102.0%	1,024,383	101.3%	50,857	103.0%	1,070,050	104.5%	52,550	103.3%	1,105,830	103.3%

※ドキュメントマネージメントシステム(DMS)には、ドキュメントマネージメントにかかわるソフトウェア製品であり、ハードウェアや役務を含まない。